




内田 淳博

ソフトウェアエンジニア

 atsuhiro.uchida.a2
 [timtoronto634](https://github.com/timtoronto634)
 [atsuhiro-uchida](https://www.linkedin.com/in/atsuhiro-uchida)

学歴

早稲田大学大学院

2019-2021 コンピュータサイエンス

東京外国語大学

2014-2019 英語・金融

University of Toronto

2016-2017 Programming / Economics

経験技術

言語

- Golang
- Ruby
- Python
- C++
- Haskell
- TypeScript

フレームワーク

- Ruby on Rails
- Django
- Pytorch
- React

インフラ

- Docker
- Terraform
- Kubernetes
- AWS EC2,

その他

- Competitive Programing
- OSS Contribution
- SPAJAM Hackathon

職務経験

ソフトウェアエンジニア

2021/4 - 現在

freee株式会社

- *Selenium*のプロファイル情報をS3に保存して再利用する処理を実装した。外部情報取得の度にユーザーに求められる追加認証を不要になり、情報取得処理の成功率を45%から80%に向上させた。仕様と技術選定を二人で考えた後、バックエンドロジックの開発を主に担当した。企画からリリースまで PM, UX, DBRE, User Support, Security の各チームと連携し、常にユーザー価値を最大化するために行動した。

- 外部情報取得システムのDatabase のCPU負荷を下げるため、原因の特定と対応をした。ピーク時の負荷を95%から15%にまで抑えられるようにした。期限の短い中、新卒のメンバーをリードしつつ、新しいgRPCエンドポイントの追加と処理の移行、*Amazon ElastiCache* の導入を実装した。

- この負荷軽減によって、開発チームがDB負荷を気にする必要はなくなり、大規模なシステム移行にも耐えられる水準となった

- 新規にファイルアップロードAPIを開発し、ユーザーの確定申告を滞りなく可能にした。主要な連携先であり、通常の機能開発を行うと確定申告に間に合わない可能性が高いところを確実に価値提供できるようにトレードオフとともに提案して開発まで完了した。

- 最低限の機能でリリース後、追加の改善をリリースした。

- 日本最大級の*Ruby on Rails* アプリケーションであるクラウド会計ソフトのdatabaseのvertical-shardingを行うため、databaseをまたいでトランザクションを行わないようにする修正をサポートした

ソフトウェアエンジニア

2020/9 - 2021/3

NABLAS株式会社

- AI教育Webプロダクトの画像処理の問題を考案・実装した。

*Python*の*WebAssembly*である*pyodide*を用い、ブラウザの不十分なメモリの上でも良い体験を提供できるようチューニングした他、ライブラリの不足も迂回しながら開発した。機能リリース後、[プレスリリース](#)した

- 音声認識AIモデルを*Azure*クラウド上にAPIとしてデプロイ、フロントとなるAndroidアプリを*flutter*で開発し、POCとして取引先にデモし、成約に貢献した。

機械学習エンジニア

2020/2 - 2020/5

DMM Games

- *Matrix Factorization*でゲームの推薦アルゴリズムを改善し、クリック数を向上させた。